# Arcserve Unified Data Protection 8.x Agent for Windows【Workstation Edition】 環境構築ガイド

はじめに	1
1. インストール	2
1.1 インストール	2
1.2 バージョンの確認	9
1.3 ライセンス キーの登録	10
1.4 修正ファイルの適用	11
2. バックアップ運用の開始	12
2.1 バックアップ設定	12
3. バックアップ スケジュールの設定例	21
3.1 バックアップ スケジュールの設定例	21
4. 製品情報と無償トレーニング情報	23
4.1 製品情報および FAQ はこちら	23
4.2 トレーニング情報	23

#### 改定履歴

2022 年 8 月 Rev1.0 リリース



### はじめに

Arcserve Unified Data Protection (以降 UDP と表記) Agent は、小中規模なコンピューティング環境のデータ保護ニ ーズに焦点を合わせた非常に「簡単」かつ「手頃」なディスクベースのシステム保護ソリューションです。 導入から運用を開始するまで、ほんのわずかな時間と設定で済むだけでなく、一度運用を始めるとほとんど専門知識や 手間をかける必要がないため、バックアップ運用管理者の手薄な地方拠点や小規模な部門でも安心してお使いいただく ことができます。本ガイドでは、サーバ管理やバックアップ運用経験の少ない方でも、簡単に UDP Agent の環境構築を 行っていただけるよう、ステップバイステップでインストールからベアメタル復旧までの手順を説明しています。



UDP Agent は保護対象のクライアント PC に直接インストールする製品です。バックアップ先のディスクには内蔵・外 付けのディスクの他、NAS などリモートの共有フォルダを使用できます。共有フォルダを使用する構成では、保護対象 のクライアント PC からみて Windows の共有フォルダとしてアクセスできるのであれば、デバイスの形式は問いませ ん。内蔵ディスクが1本しかない構成や、クライアント PC 内にバックアップのための容量を確保できない構成では、 NAS などのリモートの共有フォルダをバックアップ先に使用する運用が効果的です。管理 GUI は WEB 形式なので、ブ ラウザが使用できる環境ならば、保護したいマシンにアクセスするだけでバックアップ状況を確認することができま す。台数が多い環境では「UDP 管理コンソール」からすべてのサーバを一元管理する運用もできます。バックアップ対 象ノードに UDP Agent をリモートでインストールや、バックアップの設定(プラン)を一斉に配信することもできま す。UDP 管理コンソール利用時は、バックアップ先として「復旧ポイントサーバ」も利用できます。これにより、バッ クアップデータの重複排除や、遠隔地への転送機能が提供されます。また、負荷のかかるマージやカタログ作成処理を UDP Agent に代わって復旧ポイントサーバ側で実行することができるため、クライアント PC やネットワークへの負荷 を低減できます。

UDP 管理コンソールや復旧ポイントサーバの導入については、下記の環境構築ガイドをご参照ください。 https://www.arcserve.com/jp/udp-80-console-install-guide.pdf



### 1. インストール

説明手順は、ご使用の環境により一部手順が異なる場合がありますのでご注意ください。

インストールの必要なディスク要件は、環境により異なりますので下記の [ナレッジセンター] リンクより [ARCSERVE の サポート] 内にある動作要件をご確認ください。

参照先:https://documentation.arcserve.com/Arcserve-UDP/Available/8.0/JPN/Bookshelf.html

### 1.1 インストール

(1) [インストールの開始]

Arcserve Unified Data Protection (以降 UDP と表記) の Agent をインストールするコンピュータに、Administrator または、Administrators グループのユーザでログオンします。「Arcserve Unified Data Protection」 インストール メディアをセットし、[setup.exe] を実行します。セットアップ ウィザードが開始されます。

※<u>ダウンロード</u>した Arcserve\_Unified\_Data\_Protection\_Agent\_Windows\_8.x.exe からもインストール可能です。 ("X"は Update の番号です。)

(2) [セットアップ言語の選択]

[Japanese / 日本語] を確認し、[OK] をクリックします。

セットアップ	言語の選択		$\times$
17	言語を選択します。		
	Japanese / 日本語	$\sim$	
	OK キャンセル		

#### ※ Visual C++ 2019 再頒布可能パッケージおよび関連する KB に関する考慮事項

環境によっては、Arcserve UDP 8.x のエージェントをインストールする際に「Microsoft Visual C++ 2019 再頒 布可能パッケージおよび関連する KB をインストールする」メッセージが表示される場合があります。



[はい]をクリックしてインストールを継続してください。



(3) [使用許諾契約]

使用許諾契約を最後まで読み、同意する場合は[使用許諾契約の条項に同意します]を選択し[次へ]をクリックします。

Arcserve Unified Data Protection セ	างห <sub></sub> ัตงว <i>ี</i>	
arcserve	" UNIFIED DATA PROTECTION	
・使用許諾契約 インストールの種類 デスティネーション フォルダ 環境設定 ファイアウォールの例外 メッセージ サマリ インストールの進捗状況 インストール レポート	CVIIIILU DAIAY INDILUMU      CUBAL COLUMN      CUBAL COLUMN      ARCSERVE (USA) LLC      Iンゲービスを使いためでは、適面が使用条件は、弊社のエンド ユーザ使用時程数が書の後に起動されています。      ARCSERVE (USA) LLC      Iンドユーザ使用時程契約      Arcserve (USA) LLC ならびにその関連会社または子会社 (以下「Arcserve」) は、インストールされる Arcserve ソフトウエア製品、関      White の多年にはった、それのシストロン (以下) (以下) (以下) (以下) (以下) (以下) (以下) (以下)	
<u> ツースノート</u> ナレッジ センター		
パージョン 8.0 (ビルド 5628)	< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル	

(4) [インストール タイプの選択]

[インストールするコンポーネントの選択] で、[Arcserve Unified Data Protection – エージェント] が選択されてい ることを確認し、[次へ] をクリックします。

CICSEIVE UNIFIED DATA PROTECTION	Arcserve Unified Data Protection セッ	トアップ
◆ 使用許諾契約	arcserve	UNIFIED DATA PROTECTION
<ul> <li>・ インストールの種類 デスティネーション フォルダ 環境設定 ファイアウォールの例外 メッセージ ママ インストールの進捗状況 インストールの進捗状況 インストールしポート  Arcserve Unified Data Protection - エージェント (Arcserve UDP エージェント のみが含まれます。)  インストールの進捗状況 インストールレポート  Arcserve UDP エージェント 加引するこの  Arcserve UDP エージェント 変更トラッキングドライバをインストールするこ  このドライバは、このシステムの増分パックアッププロキシとしてのみ使用される場合は必要です。ただし、このシステムが仮想スタンパイモニタまたはホスト ペース WM パックアッププロキシとしてのみ使用される場合は必要なりません。  ***********************************</li></ul>	<ul> <li>使用時税契約</li> <li>インストールの種類</li> <li>デスティネーションフォルダ環境設定</li> <li>アイアウォールの例外、 シセモジ</li> <li>サマリ</li> <li>インストールの進捗状況</li> <li>インストールレポート</li> </ul>	インストール タイブの盗択:       「標準インストール」」」         インストール オコンボーネントの選択:       「「「「なserve Unified Data Protection - エージェント (Arcserve UDP エージェント のみが含まれます。)         ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
<u>ナレッジ センター</u> パージョン &0 (ビルド 5628) マスへ( <u>N</u> ) > キャンセル	<u>ナレッジ センター</u> パージョン 8.0 (ビルド 5628)	< 戻る( <u>B</u> ) 次へ( <u>N</u> ) > キャンセル



#### (5) [デスティネーション フォルダの選択]

インストール先フォルダを確認し、[次へ]をクリックします。

Arcserve Unified Data Protection セッ	ットアップ				
arcserve	UNIFIED DATA PROTEC	CTION			
<ul> <li>✓ 使用許諾契約</li> <li>✓ インストールの種類</li> <li>✓ インストールの種類</li> </ul>	デスティネーション フォルダのぶ	星択:			
▼ ナスナイホージョン フォルタ	C:¥Program Files¥Arcserve¥	Unified Data Protection¥			参照( <u>O</u> )
メネッチョッシュー ファイアウォールの例外 メッセージ	必要な領域: C で使用可能な容量:	1.89 GB 102.24 GB			
サマリ インストールの進歩状況 インストール レポート					
<u>製品情報</u> <u>リリースノート</u> <u>ナレップ センター</u> パージョン 8.0 (ビルド 5628)			< 戻る(B)	次へ( <u>N</u> ) >	キャンセル

(6) [環境設定]

使用するプロトコルを「HTTPS」または「HTTP」から選択します。ここでは、HTTPS(デフォルト)を選択します。また、Windows ファイアウォールに登録するポート番号を確認します。

デフォルトで設定されるポート番号は「8014」です。ここで登録したポート番号を使用して、UDP Agent の操作 をリモートのブラウザからも行うことができます。バックアップに使用する Windows 管理者の名前 [ユーザ名] を確認し、[パスワード] を入力後、[次へ] をクリックします。

Arcserve Unified Data Protection セッ	トアップ	
arcserve	UNIFIED DATA PROTECTION	
<ul> <li>◇ 使用許諾契約</li> <li>◇ インストールの種類</li> <li>◇ デスティネーションフォルダ</li> <li>&gt;&gt;&gt; 環境設定</li> <li>ファイアウォールの例外</li> <li>メッセージ</li> <li>サマリ</li> <li>インストールの進捗状況</li> <li>インストールレポート</li> </ul>	<ul> <li>環境設定</li> <li>プロトコル</li> <li>ト</li> <li>注:より安全な通信のためには、HTTPSの通信プロ</li> <li>ロージェントボート:</li> <li>留理書権限のあるアカウントを指定する</li> <li>ユーザ名:</li> <li>パスワード:</li> <li>Arcserve UDP エージェントモニタの表示:</li> </ul>	HTTPS ~ トコルが推測されます。 2014 Administrator ●●●●●●●●● ●)すべてのユーザ )現在のユーザのみ
製品情報 リリースフート ナレッジ センター		
パージョン 8.0 (ビルド 5628)		< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

#### (7) [ファイアウォールの例外]

Windows ファイアウォールの例外として登録します。内容を確認し、[次へ] をクリックします。

arcserve	UNIFIED DATA PROT	ECTION
<ul> <li>◆ 使用詳諾契約</li> <li>◆ インストールの種類</li> <li>◆ デスティネーション フォルダ</li> <li>◆ 環境時間定</li> </ul>	<b>ファイアウォールの例外</b> 以下のブログラムを Windows	ファイアウォールの例外として登録します:
▶ ファイアウ+ールの例外	サービス/プログラム	MA .
	AFD2DMonitor.exe	C:¥Program Files¥Arcserve¥Unified Data Protection¥Engine¥BIN¥AFD2DMonitor.exe
xye=y	HATransServer.exe	C:¥Program Files¥Arcserve¥Unified Data Protection¥Engine¥BIN¥HATransServer.exe
サマリ	HATransCloudServer.exe	C: ¥Program Files ¥Arcserve ¥Unified Data Protection ¥Engine ¥BIN ¥HATransCloudServer.exe
インストールの進捗状況	ARCUpdate.exe	C:¥Program Files¥Arcserve¥Unified Data Protection¥Update Manager¥ARCUpdate.exe
製品情報		
<u> </u>		
+1.000 47.00-		

(8) [メッセージ]

セットアップの検証が完了し、インストールの準備が整いました。[次へ]をクリックして進めます。

Arcserve Unified Data Protection セッ	トアップ
arcserve	UNIFIED DATA PROTECTION
<ul> <li>使用許諾契約</li> <li>インストールの種類</li> <li>デスティネーションフォルダ</li> <li>環境設定</li> <li>ファイアウォールの例外</li> <li>メッセージ</li> <li>サマリ</li> <li>インストールの進捗状況</li> <li>インストールレポート</li> </ul>	<b>メラセージ</b> セットアップによる検証が完了し、選択されたコンボーネントをインストールする準備が整いました。
製品情報 リリースノート ナレッジ センター	
パージョン 8.0 (ビルド 5628)	< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル



(9) [リマリ]

サマリ内の設定項目が正しければ [インストール] をクリックし、インストールを開始します。 もし相違があれば [戻る] をクリックして前に戻り、再設定します。



(10) [インストールの進捗状況]

インストー	ル全体の進捗状況を確認します	_
12/11		э

Arcserve Unified Data Protection セット	トアップ
arcserve	UNIFIED DATA PROTECTION
<ul> <li>◇ 使用は「建築約</li> <li>◇ インストールの種類</li> <li>◇ デスティネーションフォルダ</li> <li>◇ 環境設定</li> <li>◇ ファイアウォールの例外</li> <li>◇ メッセージ</li> <li>◇ サマリ</li> <li>◆ インストールの進捗状況 インストールレポート</li> </ul>	インフラストラクチャ全体を保護 ・ ディスク イメージ化で Windows および Linux システムを完全にパックアップします。 ・ エージェントレス パックアップで VMware, Hyper-V, および Nutanix AHV を保護します。 ・ Nutanix クラスタとの統合で、Nutanix AHV, Files および Objects 巻サポートします。 ・ Amazon AWS EC2 インスタンスおよび Microsoft Azure VM を保護します。
	ご使用のマシンに Arcserve Unified Data Protection セットアップ サポート ファイル をインストールしています。 全体の進捗状況:
<u>製品情報</u> リリース.ノート ナレッジ センター	
パージョン 8.0 (ビルド 5628)	次へ(N) > キャンセル



#### Rev:1.0

#### (11) [インストール レポート]

「インストールが完了しました」のメッセージを確認し、[完了] をクリックします。デフォルトは、インターネットが接続できる環境であれば、製品の更新を確認し最新の状態にすることができます。またチェックを外し、 更新を確認せずに [完了] させることもできます。オフライン環境で更新を手動で適用する場合、<u>ここ</u>よりダウン ロードしてください。

※ [更新を今すぐ確認する]で最新の UDP Update を適用する場合や、OS 構成やアップデート状況により、再起動 を求められる場合があります。再起動が必要な場合に表示されるメッセージはこちらをご確認ください。

Arcserve Unified Data Protection セッ	トアップ
arcserve	UNIFIED DATA PROTECTION
<ul> <li>◇ (使用計註契約)</li> <li>◇ インストールの種類</li> <li>◇ デスティネージョン フォルダ</li> <li>&gt;&gt;&gt; 環境設定</li> <li>&gt;&gt;&gt;&gt; フォルウレージ</li> <li>&gt;</li></ul>	<ul> <li>◇ インストールが完了しました。</li> <li>Arcserve Unified Data Protection 製品は正常にインストールされました。</li> <li>シ(更新を今季ぐ確認するの)</li> <li>インストールウィザードを終了するには、「洗了1をグリックしてくだだい。</li> <li>Arcserve UDP I ージョント for Linux のインストール</li> <li>Arcserve UDP I ージョント for Linux は、物理/形理 しいス マンの環境に対して推奨されます。互換性のある Linux パージョンに対して、Linux ノードので、コント パース 1・ジェントレス プランで保護されている WM に対する確認すい パージョントレス プランで保護されている WM</li> <li>Arcserve UDP I ージョント for Linux を参クンロードしてインストール</li> <li>Arcserve UDP I ージョント for Linux を参クンロードしてインストール</li> </ul>
製品積額 リリースノート ナレッジ センター パージョン 8.0 (ビルド 5628)	元行日

#### (12) [更新の確認]

[更新の確認] 画面からダウンロード経路を選択して、[更新] をクリックしてダウンロードが開始されます。

更新の確認 利用可能なすべての更新がダウン	·ロードおよびインストールされます	す。この更新をダウンロ-	-ドするソースを選択し	、[更新]をクリックしまる	ŧ.	
<ul> <li>Arcserve サーバから更新をダワ</li> </ul>	א-סעל					
□ プロキシ サーバを使用						
プロキシ サーバ:						
ポート:						
プロキシ サーバには	認証が必要					
ユーザ名:						
パスワード:						
○ ステージング サーバから更新を	ダウンロード					

この画面は、(プロキシを経由しない)直接ダウンロードをした場合になります。



※以下のように再起動を求められた場合は、[はい]をクリックしシステムを再起動してください。

Arcserve Unified Data Protection セット	アップ
arcserve	UNIFIED DATA PROTECTION
更新の確認	
<ul> <li>Arcserve Unified Data Prote</li> </ul>	ction に対して利用可能なすべての更新が正常にインストールされました。[完了] をクリックして終了します。
0	Arcserve Unified Data Protection
	インストールを完了するには、システムの再起動が必要です。今すぐシステムを再起 動してもようしいですか?
	はい(Y) いいえ(N)
-	
	完了(F) キャンセル



#### 1.2 バージョンの確認

(1) [タスクトレイアイコン]

タスクトレイの UDP アイコンをクリックし、メニュー画面を表示しバージョン情報をクリックします。



(2) [バージョンの確認]

バージョン、Build 番号、および Update の確認ができます。

Arcserve UDP エージェント のバージョン情報	$\times$
Axoserve Unified Date Protection パージョン: 8.1 ビルド: 8.0.5628.430 本製品は Aroserve (米国), LLC によってライセンスされます Copyright (c) 2014-2021, Aroserve (USA), LLC All rights reserved. No unsuthorized copying or distribution is permitted.	
<u>リリースフート</u>	
ОК	



#### 1.3 ライセンス キーの登録

Windows タスクトレイの [エージェント モニタ] アイコンをクリックし [拡張] - [ライセンス] と選択し、[ライセン ス確認エントリ] よりライセンス登録を行います。

(ア) ライセンス画面の起動

	Arcserve UDP エージェントを開く
	今すぐバックアップ
	設定
	リストア
	復旧ポイントのコピー
A CONTRACTOR OF A DESCRIPTION OF A DESCRIPANTE A DESCRIPANTE A DESCRIPANTE A DESCRIPTION OF A DESCRIPTION OF	復旧ポイントのマウント
	更新の確認
ブートキット ウィザード	拡張 >
ライセンス	パージョン情報
サービスの停止	終了
通知 >	0 🖳
	^ ⊑A 13:36 2021/03/12

(イ) キーの入力

[ライセンス確認エントリ] 画面で、Arcserve UDP Windows エージェントのキーを [ライセンスキー(L)] 欄に入 カし、[追加] をクリックします。キーが追加され、コンポーネント名にライセンスが追加されたことを確認 し、[OK] で終了します。



#### 1.4 修正ファイルの適用

修正ファイルの入手と適用には以下の二つの方法があります。

(1) UDP Agent の更新機能を使用

UDP Agent のインストールされているマシンで Web へのアクセスが可能な場合、修正ファイルを Arcserve サポ ート サイトからスケジュールでダウンロードするか、[ヘルプ] メニューから[更新の確認]より手動でダウンロード できます。

ダウンロードした修正ファイルは任意の時間に、手動で適用することが可能です。

(2) Arcserve サポート サイトを利用

Arcserve サポート サイトから修正ファイルを手動でダウンロードし、適用。修正ファイルは以下の URL からダウンロード可能です。

https://support.arcserve.com/s/article/Arcserve-UDP-8-0-Solutions-Patches?language=ja



### 2. バックアップ運用の開始

ここではデフォルト設定による最も簡単な運用開始手順を説明します。

以下の説明に従って、初めてバックアップ設定を保存した場合、毎日 22:00 にバックアップが自動的にスケジュールされま す。運用要件に応じバックアップ設定を変更するには、本章「3.1 バックアップ スケジュールの設定例」を参照してくださ い。

#### 2.1 バックアップ設定

(1) [設定]

タスク トレイ上の UDP アイコンをクリックし、メニューから [Arcserve UDP エージェント を開く] をクリック します。

>



(2) [UDP エージェントの起動]

既定のブラウザが起動しますが、ここでは Microsoft Edge (バージョン 92.0.902.84) での例を紹介します。 デフォルトの証明書が証明機関によって識別されないため、警告が表示されます。[詳細設定] を展開し、 [localhost に進む (安全ではありません) ]を選択し続行します。





Rev:1.0

(3) [証明書エラーの確認]

アドレスバーの [セキュリティ保護なし] をクリックし、続いて [>]をクリックします。 証明書アイコンをクリックし、サイトの証明書を表示します。



(4) [証明書のエクスポート]

証明書を表示し、[詳細] タブをクリック、[ファイルのコピー] をクリックして、証明書のエクスポート ウィザー

ドを起動します。

🔐 証明書 🛛 🕹 🕹	
全般 詳細 証明のバス	全般 詳細 証明のパス
証明書の情報     この CA ルート証明書は信頼されていません。信頼を有効にするにはこの証明書を信頼されたルート証明機関のストアにインストールしてください。	表示(S): <すべて> フィールド 値 「「ハージョン V3 「「シリアル番号 4d 9d 99 fb 「「雪名アルゴリズム sha256RSA 「雪看名パッシュアルゴリズム sha256 留名パッシュアルゴリズム sha256 「雪石小ジョンアルゴリズム sha256 「雪石小ジョンアルゴリズム sha256 「雪石小ジョンアルゴリズム sha256 「雪石小明間の開始 2021年3月12日 11:33:56 「雪有効期間の読入 2071年2月28日 11:33:56
	Emit サブジェクト win-agt  v
発行者: win-agt	
有効期間 2021/03/12 から 2071/02/28	
発行者のステートメント(S)	ブロバティの編集(上) ファイルにコビー(の
ОК	ОК



証明書のエクスポート ウィザードが表示されますので、 [次へ] をクリックします。

エクスポート ファイルの形式はデフォルトの [ DER encoded binary X.509 (.CER) ] にチェックが入っていることを確認して [次へ] をクリックします。



エクスポートするファイル名を指定します。ここでは C ドライブ直下に [UDP.cer] で作成します。 証明書のエクスポートウィザードの完了が表示されるので、[完了]をクリックします。

★ 愛証明音のエクスポート ウィザード	★ 夢 証明書のエクスポート ウィザード
エクスポートするファイル エクスポートするファイルの名前を入力してください	証明書のエクスポート ウィザードの完了
ファイルを≦(E): C:¥UDRcer ⑦ ⑦陽(E)	証明書のエクスポート ウィザードが正常に完了しました。 次の設定が指定されました: ファイル名 CAUDReer キーのエクスポート いいえ 証明のパスにあるすべての証明書を含める いいえ ファイルの形式 DER Encoded Binan く
次へ[N] キャンセル	完了(E) キャンセル



[正しくエクスポートされました] のポップアップが表示されるので、[OK] をクリックし、指定した個所に証明書 が配置されていることを確認してください。

証明書のエクスポートウィザード 🛛 🗙	🏪   🕑 📙 🖛 I	ドライブ ツール ローカル ディスク (C:)		-		×
	ファイル ホーム 共有 表	示 管理				~ 🕐
正しくエクスポートされました。	← → × ↑ 🏪 > PC > 🗆	ーカル ディスク (C:)	ٽ ~	ローカル ディスク (C:)の検	索	Q
10(1)//// TCN00/08	<ul> <li>A 約</li> <li>A 約</li> </ul>	^	更新日時	種類	サイズ	
		PerfLogs	2016/07/16 22:23	ファイル フォルダー		
OK	7,57597 *	Program Files	2021/03/12 11:33	ファイル フォルダー		
UK	₩ 9720-1 *	Program Files (x86)	2021/03/15 13:28	ファイル フォルダー		
	🖹 F=1X>F 💉 📘	Windows	2021/03/12 11:33	ファイル フォルダー		
	📰 ピクチャ 🛛 🖈 🚺	ユーザー	2019/08/11 21:09	ファイル フォルダー		
	💻 PC	JDP	2021/03/15 14:31	セキュリティ証明書		1 KB
	➡ ダウンロード					
	🔜 デスクトップ 🗸 🖌					>
	6 個の項目					

(5) [証明書のインポート]

Microsoft Edgeの[設定]を開き、[プライバシー、検索、サービス]を開きます。



セキュリティ設定までスクロールし、[証明書の管理] のマークをクリックすると、証明書画面が表示されるので、[インポート] をクリックします。

I ● Arcserve UDP I-ジェント × 袋 設定 × +	-		証明書	×
← → C	6 ¢ @	۰۰ ۱	目的( <u>N</u> ): <すべて>	$\sim$
≡ 設定	Q. 設定の検索		個人 ほかの人 中間証明機関 信頼されたルート証明機関 信頼された発行元 信頼されない発行元	;
<b>セキュリティ</b> Microsoft Edge のセキュリティ設定を管理			発行先 発行者 有効期限 フレンドリ名	
証明者の管理 HTTPS/SSLの証明者と設定を管理します		0		
Microsoft Defender SmartScreen Microsoft Defender SmartScreen を使用して夢意のあるサイトやダウンロードから保護します。	•	D		
望ましくない可能性のあるアプリをプロックする 予想しない動作を引き起こす可能性がある地容何のアプリのダウンロードをプロックします。				
<b>セキュア DNS を使用して、Web サイトのネットワーク アドレスを検索する方法を指定します。</b> 原走では、Microsoft Edge は現在のサービス プロバイダーを使用します。代替 DNS プロバイダーが原因で、一部のサイトに	到達できなくなる場合があります。	D	インボート(D         削除(b)         詳細設定	( <u>A</u> )
現在のサービスプロバイダーを使用 現在のサービスプロバイダーが安全な DNS を提供していない可能性があります。			証明書の目的	
<ul> <li>サービス プロパイダーを選択する</li> <li>一覧からプロパイダーを選択するか、カスタム プロパイダーを入力します</li> </ul>			表示[V]	
あスタム プロパイターを入力して CERU サービス			問じる(	<u>0</u>



証明書のインポート ウィザード が表示されますので、[次へ] をクリックします。 インポートする証明書ファイルを指定しますので、先ほどエクスポートした証明書ファイルのパスを指定して [次へ] をクリックします。



[証明書をすべて次のストアに配置する]を選択し [参照] をクリックします。

証明書ストアの選択画面で、[信頼されたルート証明機関]を選択し [OK] をクリックします。

★ 愛 証明者のインポートウィザード		
証明書ストア 野田舎ストアは、野田舎が保安されるシステんトの経域です。		
	証明書ストアの選択	×
Windowsに証明者ストアを自動的に選択させるか、証明者の場所を指定することができます。  () 証明者の障碍に答づいて、自動的に証明者ストアを選択する(U)	使用する証明書ストアを選択してください( <u>C</u> )	
<ul> <li>● 証明書すべて次のストアに配置する(2)</li> <li>証明書ストア:</li> <li>個人</li> </ul>		*
次へ <u>(N)</u> キャンセル	OK	JL



証明書ストアに、信頼されたルート証明機関が追加されたのを確認し、[次へ]をクリックします。

証明書がインポートする内容を確認し、[完了]を押します。

★ 夢 証明者のインボートウィザード	★ 夢 証明者のインボート ウィザード
証明書ストア 証明書ストアは、証明書が保管されるシステム上の領域です。	証明書のインポートウィザードの完了
Windows に証明者ストアを自動的に選択させるか、証明者の場所を指定することができます。	[完了]をクリックすると、証明書がインボートされます。
<ul> <li>○ 証明書の連續に基づいて、自動的に証明書ストアを選択する(U)</li> <li>● 証明書をすべて次のストアに配置する(P)</li> <li>■ 証明書 ストア、</li> </ul>	次の設定分類定されました ユーザーが選択した証明自ストア 内容 証明者 ファイル名 C:¥UDR.cer
(ご明されたルート証明機関 参照( <u>K</u> )	
次へ(N) キャンセル	完了(E) キャンセル

証明書をインストールする旨、セキュリティ警告画面が出てきますが、[はい]をクリックしインポートします。 正しくインポートされたのを確認したら、[OK]を押してブラウザを再起動します。

セキュリティ	<u>**</u> *	×
	発行者が次であると主張する証明機関 (CA) から証明書をインストールしようとし ています:	
	win-agt	
	証明書が実際に "win-agt" からのものであるかどうかを検証できません。 "win-agt" に連絡して発行者を確認する必要があります。 次の番号はこの過程で 役立ちます:	
	拇印 (sha1): AE40833D C7174995 FDCA1A49 503ACF8C 0E185D3F	
	警告: このルート証明書をインストールすると、この CA によって発行された証明書は自動 的に信頼されます。確認されていない拇印付きの証明書をインストールすることは、 セキュリティ上、危険です。[はい]をクリックすると、この危険を認識したことになりま す。	
	この証明書をインストールしますか?	
	はい(Y) いいえ(N)	





(6) [ログイン]

ブラウザを再起動し(1)の手順で再度 [Arcserve UDP エージェント を開く] を選択し、UDP エージェントのログイン画面を開き、証明書エラーが解消されていることを確認します。

インストール時に指定したアカウントでログインします。ここでは、このまま「Administrator」アカウントでロ グインします。[パスワード] 入力し、[ログイン] をクリックします。



(7) [設定] - [バックアップ設定]

初回ログイン時、Arcserve UDP エージェントの使用方法の画面が表示されますが、[閉じる]をクリックし、画面 右側のナビゲーション→タスク→[設定] 画面の [保護設定] をクリックします。UDP では必ず [バックアップ先] を 指定する必要があるので、「バックアップ先」 の [参照] ボタンをクリックして指定します。

設定		o x
▲ My クアップ設定 ■ 保護設定	保護設定	<b>^</b>
🚯 スケジュール	▼ バックアップ先	
◎ 拡張	ファイルのバックアップ先を選択してください。	
🗙 バックアップ実行前/後		
🔺 🔀 ファイル コピー設定		参照
器 ソース	バックアップ先が変更されたので、次のバックアップの種類を選択してください。	
◎ 人グ シュール		
■ ◎ ノアイリレアー パイン設定	- 1% - b 7	
	◎ すべてのホリュームのバックアップ	
◎ ペジジェール	○ 選択したボリュームのバックアップ	
	- ▽ 通知 (0 個の警告)	
	▼ バックアップ データ形式	
■ 電子スール アリート	○ 標準 ● 拡張	
■ 実利		
2 設定のエジスパー 144 ジバ	▼圧縮を有効にする	
	F縮を使用すると、バックアップ先で必要なディスク容量が減少します。	
	標準 マ	
<		
	設定の保存 キャンセル	へルプ



Rev:1.0

バックアップ場所の選択を行い、[OK] をクリックします。この例では、「E:\UDPBackup」というローカル ディ スク上のフォルダをバックアップ先として指定しています。

バックアップ場所の選択	×
フォルダの選択	<b>.</b>
▷ 🚍 C:1	
⊿	
DDPBackup	
フォルダ名:	
E:\UDPBackup	
OK キャンセル	

※ UDP ではローカル ディスク内のフォルダをバックアップ先として指定した場合、バックアップ先フォルダを 含むディスク全体がバックアップ対象から除外されます。ローカル ディスク内にバックアップ先を確保できない 場合には、外付け USB ハードディスク等を利用するか、以下の「バックアップ先として共有フォルダを設定する 方法」を参照し、共有フォルダをバックアップ先として設定します

[バックアップ先として共有フォルダを指定する方法]:

① 共有フォルダを指定する際には、バックアップ先として"\"(¥)で始まる UNC パスを直接入力します。ここでは[\\192.168.238.137\Share] という共有フォルダをバックアップ先として指定します

保	護設定				
٧P	ックアップ先				
-	ファイルのバックアップ先を	選択してください。			
	\\192.168.238.137\share	×	- <del>&gt;</del> -	課令	
	バックアップ先が変更された	・ ≿ので、次のバックアップの種類を選択してください。			
	◉ フルバックアップ	○ 増分バックアップ			

② UNCパスの入力後、テキストボックス横の→アイコンをクリックすると共有フォルダに接続するためのアカ ウント情報の入力画面が表示されます。接続に使用する [ユーザ名] と [パスワード] を入力し、[OK] をクリ ックします。

接続			×				
¥¥192.168.238.1374	fshare への接続						
ユーザ名	administrator						
パスワード	ארקאר ארקא ארקא ארקא ארקא ארקא ארקא ארק						
ユーザ名の形式: ユー 名	ーザ名、マシン名¥ユーザ名、	またはドメイン名¥ユーザ					
	ОК	キャンセル					



Rev:1.0

(8) [設定の保存]

[設定の保存]をクリックし設定を保存します。保存が完了すると、自動的にデフォルトのバックアップスケジュ ールが設定され、バックアップ運用が開始されます。

設定		
<ul> <li>         バックアップ設定           </li> <li>                   保護設定          </li> </ul>	保護設定	^
<ul> <li>③ スケジュール</li> <li>◎ 拡張</li> <li>↓ バックアップ実行剤後</li> <li>▲ ブーイル コピー設定</li> <li>&gt; ジース</li> <li>☆ デスティネーション</li> <li>③ スケジュール</li> <li>○ ファイン/195*</li> </ul>	バックアップ先を選択してください。         E:UDPBackup         バックアップ先が変更されたので、次のバックアップの種類を選択してください。         の増分バックアップ	
Synthesis     Synthesi	<ul> <li>パックアップ ソース</li> <li>● すべてのボリュームのバックアップ</li> <li>● 選択したボリュームのバックアップ</li> <li>▲ 通知 (1 個の警告)</li> <li>● ローカルのバックアップ先ボリューム Ettla、バックアップ ソースの選択から除外されます。</li> </ul>	
<ul> <li>○ モナシール / アラート</li> <li>○ 更新</li> <li>▲ ② 設定のエクスポート/インオ</li> <li>④ エクスポート</li> <li>④ インポート</li> </ul>	バックアップ データ形式  標準  Efacetation  Efacetat	
•	一番注 ▼   この 低存 キャンセル へ い こ	ŕ

(9) [スケジュール確認]

バックアップ スケジュールが登録され運用が開始されます。バックアップ中のステータスや次回のスケジュール は UDP ホーム ページ内の [ジョブ モニタ] から確認することができます。

arcser	Ve <sup>®</sup> Unified data prot	ECTION	
サーバ:WIN-AGT			
ジョブ モニタ		_	
次にスケジュールされたパッ	ックアップ: 2021/03/16 22:00:00 増分パックアップ		
サマリ			
	前回のバックアップ - N/A <sup>N/A</sup>	0	<b>更新</b> 更新のスケジュールは有効です。
💙 😳	<b>復旧ポイント</b> 31 個中 0 個のカスタム/手動復旧ポイント 7 個中 0 個の毎日の復旧ポイント		
<b></b>	<b>バックアップ先の容量</b> バックアップ先には 59,90 GB の空き容量があります。 パス: E¥UDPBackup¥win-ast		

※ デフォルトのスケジュール設定は、毎日 22:00 です。すぐにバックアップを開始する場合は、[今すぐバックアップ]をクリックしバックアップを実施します。



### 3. バックアップ スケジュールの設定例

#### 3.1 バックアップ スケジュールの設定例

ここでは、月曜日から金曜日の23時に増分バックアップを行い、土曜日および日曜日にはバックアップを実施しない 例を紹介します。

(1) [設定] 画面の起動

タスク トレイ上の UDP アイコンをクリックし、[設定] をクリックします。



(2) [設定]

バックアップ スケジュールの設定は、[設定] - [スケジュール] メニューでスケジュールを変更します。

設定	1	οx
🔺 🎂 バックアップ設定		<b>^</b>
▲ 保護設定		
🐻 スケジュール	●追加 ▼ 創除	
37722		
📉 バックアップ実行前/後(		
4 🜇 ファイル コピー設定	□ 🖆 旦次増分バックアップ 🖌 🖌 🖌 🖌 🖌 22:00	
品 ソース		1
デスティネーション	スケジュールされたバックアップの 2021/02/16 岡 13 マ 11 マ	
🔞 スケジュール	開始時刻	
4 🚵 ファイル アーカイブ設定		
ふ ソース	復旧ホイントの保存 7 毎日	
デスティネーション		
	每週	
▲ ■ 復日ホイントのコピー		
	每月	
4 梁現設定		
	31 カスタム/手動	
◎ モナメール アラード		
■ 実初 ▲ ■ 設定のエクスポートレインオ	カタログ 以下の実行後にファイル システム カタログを生成 (検索速度向上のため):	
	□ 日次バックアップ	
	□ 週次バックアップ	
	□ 月次バックアップ	
	□ カスタム/手動バックアップ	
•	•	-
	設定の保存 キャンセル ヘルノ	



(3) [日次増分バックアップ]の変更

[日次増分バックアップ]をクリックし、以下のように設定します。

#### **開始時刻 :** 23 時

曜日: 四月曜日 回火曜日 回水曜日 回木曜日 回金曜日

#### 保持するバックアップ数:5

バックアップ スケジュー	ルの編集			×		バックアップ スケジュー	ルの編集			×
毎日				-		毎日				-
バックアップの種類	増分	-				バックアップの種類	増分			
開始時刻	22:00	144 Å []]]				開始時刻	23:00			
	<ul> <li>✓ 日曜日</li> <li>✓ 水曜日</li> <li>✓ 土曜日</li> </ul>	<ul><li>✓ 月曜日</li><li>✓ 木曜日</li></ul>	<ul><li>✓ 火曜日</li><li>✓ 金曜日</li></ul>				<ul> <li>□ 日曜日</li> <li>✓ 水曜日</li> <li>□ 土曜日</li> </ul>	<ul><li>✓ 月曜日</li><li>✓ 木曜日</li></ul>	<ul><li>✓ 火曜日</li><li>✓ 金曜日</li></ul>	
保持するバックアップ数	7				保持するバックアップ数	5				
					1					
へいブ		保存	キャンセル			ヘルプ		保存	キャンセ	IL

(4) [設定の保存]

月曜日から金曜日の23時にバックアップを実行する設定が完了しました。[設定の保存]をクリックします。

※ カスタム バックアップで保持する復旧ポイント数は、デフォルトでは「31」ですが、バックアップ要件に あわせて変更してください。

設定										
<ul> <li>▲ 「シクアップ設定</li> <li>査 保護設定</li> <li>(3) スケジュール</li> </ul>	④ 追加 ▼ 剤除									Â
◎ 拡張 【 バックアップ実行前/後	✓ タイ 説明 プ	日	月	火	水	木	金	t	時刻	
▲ M ファイル コピー設定	<ul> <li>              日次増分バックアップ      </li> </ul>		~	✓	~	~	✓		23:00	
<ul> <li>■ 「入」ィホーション</li> <li>◎ スケジュール</li> <li>▲ N ファイル アーカイブ設定</li> </ul>	<ul> <li>△ 通知</li> <li>① 手動 (アドホック) バックアップ</li> </ul>	プについては、カン	7 <i>91</i> /	手動バ	ックア	ップフ	くケジ:	1- <i>I</i> L	用に設定された保存設	
恐 ソース 首 デスティネーション	定はまだ適用されます。									-
◎ スケジュール ▲ 製 復旧ポイントのコピー 「 コピー設定	ステシュールされたハックアップの 開始時刻	2021/03/16			13	▼ :	41	*		
▲ 读 環境設定 ③ 一般	復旧ボイントの保存	5			毎日					
図 電子メール アラート ■ 更新					毎週					
▲ 愛設定のエクスボート/インオ ビエクスボート ロインボート		31			カスタ	ム/手重	b			
	カタログ	以下の実行後にこ	<sup>7</sup> アイル	/シス:	テムカ	タログ	を生成	戊 (検索	ミュアリン (読度向上のため):	
< →		□ 日次バックア	ップ	設定の	D保存		<b>*</b>	ャンセ	UI- \1	•



### 4. 製品情報と無償トレーニング情報

製品のカタログや FAQ などの製品情報や、動作要件や注意事項などのサポート情報については、ウェブサイトより確認してください。

#### 4.1 製品情報および FAQ はこちら

Arcserve シリーズ ポータルサイト https://www.arcserve.com/jp/

#### 動作要件

https://support.arcserve.com/s/article/Arcserve-UDP-8-0-Software-Compatibility-Matrix?language=ja

注意 / 制限事項 https://support.arcserve.com/s/article/2021032301?language=ja 製品ドキュメント https://support.arcserve.com/s/article/Arcserve-UDP-8-0-Documentation?language=ja

サポート / FAQ

https://support.arcserve.com/s/article/205002865?language=ja

Arcserve Unified Data Protection 8.x ダウンロード情報 https://support.arcserve.com/s/article/Arcserve-UDP-8-0-Solutions-Patches?language=ja

(ブログ) それ、レプリケーションでよろしく。UDP ともども。 https://arcserve.txt-nifty.com/blog/d2d/index.html

### 4.2 トレーニング情報

<u>無償トレーニング</u> 半日で機能を速習する Arcserve シリーズの無償ハンズオン(実機)トレーニングを毎月実施しています。どなた様でも 参加いただけますので、この機会にご活用ください。 (注:競業他社の方はお断りしております。) https://www.arcserve.com/jp/jp-resources/seminar/

